

10. 〃信頼の気持ち〃はパートナーの魅力を倍加させる

パートナーの浮気をいつも心配している人は、自分から進んでパートナーに浮気をそそのかしているのです。

あなたはパートナーの浮気を望むでしょうか。少なくとも、パートナーの浮気を積極的に望む人はいないでしょう。

では、望まないことが、なぜ、進んでそそのかしていることに富のでしょうか。これは潜在意識のメカニズムを知らなければいけません。潜在意識に何かを望むとき、「イメージすること」の重要性をマーフィー博士は、繰り返し強調しています。心に自分の望ましい絵を描くと、その映像が潜在意識に降りていて、願望は現実が変わる、と博士は言っています。

自分に好ましいことをイメージできればいいのですが、「パートナーが浮気をするのではないかと密かに心配するということも、イメージすることの一種です。こういうマイナスのイメージさえも潜在意識は機械的に実現してしまいます。このような心配、恐れ、不安などが自分の好ましいイメージと一緒に浮かんでしまうときはどうなるのでしょうか。その場合は、強いほうがあなたの望みとして選択されます。つねに恐れることは「起きてほしくないことを望む」結果になる。このことは潜在意識を活用する上で忘れてはならない重要な点です。

ある男性は美しい恋人とつきあっていましたが、美しさゆえに近寄る男性が多く、恋人が浮気を働くのではないかといつも心配していました。まもなく、恋人は本当に浮気をしました。この場合、恋人の立場に立って考えると、どうなるのでしょうか。男性が自分を信頼していないことは、彼女の顕在意識でわからなくとも、潜在意識にはすぐわかります。潜在意識にはごまかしは効きません。

その女性から見た恋人は、猜疑心の塊にしか見えません。とても、魅力的なパートナーには見えないということです。女性にとって、恋人がだんだんうとましい存在になっていっても不思議ではありません。つまり、浮気を恐れることで、女性の心を傷つけるだけでなく、自分をまったく魅力のない男に仕立ててしまっているのです。

「恐れを持ち続ければ、愛は去っていきます」とマーフィー博士は言います。愛と恐れは決して共存できるものではないからです。恐れも、一種の願望の働きをしています。あなたが、それを望まないなら、一刻も早く心の中から恐れ、不安、恐怖、心配を追放することです。

マーフィー 運がよくなる魔法の練習帳 マーフィー理論研究会 編著